

部長名	産業振興部長
-----	--------

部のミッション
「魅力あふれる産業でにぎわい活力のあるまち」の実現に向けて、産業資源や学園都市としての知の集積を活かしたイノベーションによる価値創造、新分野産業の創出等を図るとともに、日本遺産等の活用による観光まちづくりを推進する。
部のビジョン
市内企業への支援、スタートアップ支援、企業立地支援、農業振興等による生み出された産業資源（価値）及び日本遺産をはじめとする文化・自然資源を磨き上げ、これを観光・MICE・商業等に活用することにより、新たな価値創造及び関係人口、交流人口の増加を図り、地域経済の発展を促す。

重要度が高い事務事業					
番号	施策番号	細施策番号	事業名	重要度が高いとする理由	事業実施課
1	30	4	スタートアップ支援	新規事業として「創業支援プログラム」及び「ピッチコンテスト」の実施・開催を行うため。	産業振興推進課
2	29	2	就業支援・働き方改革	新規事業として、「就業マッチング支援事業」及び「中小企業職場環境づくり支援」を実施するため。	産業振興推進課
3	30	3	企業立地の促進	充実事業として、市外からの企業誘致の強化を図るため、市外における情報収集・周知活動を行うため。	企業誘致担当
4	31	3	観光施設の管理運営	タヤけ小やけリノベーションプランの第1段階として、民間活用導入を踏まえ、新たな魅力と価値創造を図る必要がある。	観光課
5	21	2	日本遺産の活用	第一四半期に総括評価・継続審査の現地調査・ヒアリングに的確に対応する必要がある。また、新たな地域活性化計画の初年度として、着実な事業実施を行っていく必要がある。	日本遺産推進課
6	31	3	観光コンテンツの発掘・洗練化	新規事業として、アニメを活用した誘客促進及び相模原市との連携による周遊促進事業を実施するため。	観光課
7	31	4	MICEの推進	国際的な会議の誘致促進を図り、MICE都市としてのブランド向上を図るため、的確な事務事業の執行を行っていく必要がある。	MICE推進担当
8					
9					
10					

1	施策番号	30	細施策番号	4	細施策名	成長産業の創出	事業名	スタートアップ支援	
	目標設定にあたって重視した点		経営計画に掲げる重点事業の推進						
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	<p>創業者及び創業希望者を支援することで、イノベーションの創出や新たな雇用の創出を図り、地域経済の成長・発展に繋げる。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業がさらに充実され、創業しやすい環境が整備されている。 ・八王子市が創業支援を積極的に実施しているイメージが対外的に広がっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ピッチイベントに多くの応募があり、参加者同士や企業、大学など提案内容に関係する団体との交流が生まれている。 ・令和8年度新規事業の創業支援プログラムの参加者が、創業に向け、前進している。 ・八王子商工会議所や国民生活金融公庫などと連携し、創業者の支援体制がさらに充実している。 		
【現状】			【課題】			【事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・サイバーシルクロード八王子にて、創業セミナーや本気の創業塾を実施 ・工学院大学と連携し、創業者などに研究開発のための施設を提供 ・全国の創業比率は、4.6%、東京都は6.5%、八王子市は4.4%で、全国の平均よりも低い。 			<ul style="list-style-type: none"> ・アントレプレナーシップの醸成及び創業意向がある方の掘り起こし ・八王子市内で創業しやすい環境の整備・提供及びプロモーション活動の充実 ・ソーシャルビジネス/コミュニティービジネス(SB/CB)に関する事業者、支援などの情報の不足 			<ul style="list-style-type: none"> ・【新】創業支援プログラムの実施 ・【新】ピッチイベントの実施 ・サイバーシルクロード八王子と連携し、創業を目指す方に経営ノウハウを指南する創業セミナーの実施 ・工学院大学と連携し、創業者などに研究開発拠点を提供 ・創業者向け販路拡大補助金の実施 			
2	施策番号	29	細施策番号	2	細施策名	働く機会の創出	事業名	就業支援・働き方改革	
	目標設定にあたって重視した点		経営計画に掲げる重点事業の推進						
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	<p>市内中小企業の雇用に繋がる人材確保や人材の定着につながる中小企業の人材育成を行い、市内中小企業の持続的発展を図る。</p>			<p>令和8年度に始めた市内中小企業の人材確保支援の効果検証が行われ、市内中小企業の人材確保及び定着支援の体系的な支援が行われている。</p>			<p>令和8年度の新規事業「中小企業人材確保支援」「人材確保・定着支援」を実施し、事業検証を行い、新たな支援の方向性が見えている。</p>		
【現状】			【課題】			【事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・人手が不足している中小企業の割合：63%（日本商工会議所アンケート） ・「はちおうじ就職ナビ」の立上げから10年以上が経過し、雇用に結びつける機能等の拡充が必要。 ・ハローワーク八王子などと合同就職面接会などを実施しているが、参加者が減少傾向。 			<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足に困っている中小企業と就職希望者の接点の拡充 ・中小企業の離職を防ぐための人材定着につながる支援の拡充 ・企業が、採用に結びつけることが出来る「はちおうじ就職ナビ」の再構築 			<ul style="list-style-type: none"> ・【新】中小企業人材確保支援により、キャリアコンサルタントなどの専門家を派遣 ・【新】中小企業の人材確保に繋がる取組に対する「人材確保・定着支援補助金」の実施 ・若者と市内企業のマッチングを行うことを目的に、「はちおうじ就職ナビ」（WEBサイト）の運営 ・ハローワーク八王子、東京しごと財団と連携し、合同就職面接会やセミナーを実施 ・市内中小企業の新入社員及び中堅社員研修の実施 			

3	施策番号	30	細施策番号	3	細施策名	企業立地の促進	事業名	企業立地の促進	
	目標設定にあたって重視した点				経営計画に掲げる重点事業の推進				
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	<p>企業立地支援条例に基づき、市外からの移転・市内移転や拡張に対して奨励金を交付することで、税収入の確保、雇用の創出、地域経済の活性化を図るもの。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 加住・宮下土地区画整理事業に、特定産業を中心とした市外企業等の立地が決定している。 ・ 「都市型産業（仮）」が企業誘致支援条例に位置づけられ、企業誘致の次のステージに進んでいる。 ・ 「市街化調整区域活用方針」に基づき、民間事業者の発意で新たな事業用地の創出が進められている。 ・ 事業者・宅建事業者のネットワークにより、市内企業の流出防止が図られている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 市外企業へのアプローチが機能し、加住・宮下土地区画整理事業における特定産業等の誘致活動が進んでいる。 ・ 次の企業誘致のステップである「都市型産業（仮）」の支援の方向性（定義・支援内容等）が明確になっている。 ・ 都市計画部と連携し、市街化調整区域活用方針が改定され、事業者への周知が進んでいる。 ・ 企業立地促進検討会及び商工会議所・不動産事業者・金融機関等庁外の機関との連携体制が確立されている。 ・ 地域共生に課題を持つ製造業の操業環境が改善され、市外への流出防止に繋がっている。 		
【現状】			【課題】			【事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業立地支援制度は平成16年4月から時限措置として開始。現在条例は令和10年度末終期。 ・ 令和6年10月に企業立地支援条例を改正し、特定産業・本社機能移転加算金を追加、業種にデータセンターを追加、スタートアップ企業の要件緩和。 ・ 令和6年6月に企業立地促進検討会を設置。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定産業に関わる市外企業への情報発信の強化（企業誘致のブランディング） ・ 企業誘致のための新たな事業用地の創出 ・ 事業用地によらない新たな企業誘致の方向性の研究 ・ 産業支援機関などとの連携体制の構築 ・ 市内企業の流出防止 			<p>(充) 今後成長が見込まれる特定産業をターゲットに、立地意向調査及び市の企業立地制度と産業用地のPRを行う。</p> <p>(充) 次の誘致ターゲットとなる用地によらない産業「都市型産業（仮）」についての実態調査を行い、今後の誘致の方向性を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会議所と連携して、市内金融機関・不動産事業者とのネットワークづくり、市内企業の情報収集を行い、市内企業の流出防止につなげる。 			
4	施策番号	31	細施策番号	3	細施策名	観光地域づくりの推進	事業名	観光施設の管理運営	
	目標設定にあたって重視した点				経営計画に掲げる重点事業の推進				
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	<p>効果・効率的な施設の整備や維持管理を実施することにより、観光客や市民の余暇活動の充実に資するとともに、施設を活用し、地域振興を図る。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ タヤけ小やけふれあいの里のリノベーションが進んでおり、施設と地域の魅力が向上している。 ・ 高尾599ミュージアムの指定管理の選定が終了し、施設と地域の魅力が向上している。 ・ 施設の料金改定を行い、観光消費額の向上につなげることができている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ タヤけ小やけふれあいの里のリノベーションについて、施設活用可能性調査を終え、事業モデルの検討ができています。また、次期指定管理の選定を終えています。 ・ 高尾599ミュージアムの次期指定管理に向け、選定基準の検討ができています。 ・ 受益者負担の見直しによる料金改定（タヤけ、599、山麓駐車場）に向けた準備を行い、新料金での運営に向けて進んでいる。 		
【現状】			【課題】			【事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ タヤけ小やけの次期指定管理の選定は令和8年度に実施する。 ・ 高尾599ミュージアムの次期指定管理の選定は令和9年度に実施する。 ・ 山麓駐車場は令和8年度に料金改定を実施する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民連携手法によるリノベーションの検討・推進 ・ 高尾599ミュージアムの次期指定管理に向けたレベルアップ ・ 料金改定の円滑な実施 ・ 安心、安全な観光施設の管理運営 ・ 自然環境の保全と活用の推進 			<ul style="list-style-type: none"> ・ タヤけ小やけふれあいの里の管理運営とリノベーション事業の推進。 ・ タヤけ小やけふれあいの里の次期指定管理者選定 ・ 高尾599ミュージアムの管理運営と次期指定管理者選定準備 ・ 高尾山麓駐車場をはじめとする観光施設の管理と料金改定事務 			

5	施策番号	21	細施策番号	2	細施策名	歴史文化・日本遺産の魅力発信	事業名	日本遺産の活用			
	目標設定にあたって重視した点		多様な主体との連携								
	【目的】	日本遺産制度を活用し、本市の認定ストーリー「霊気満山 高尾山 ～人々の祈りを紡ぐ桑都物語～」及びその構成文化財を磨き上げるとともに、本市の歴史文化の魅力を市内外に効果的に発信することで、地域の活性化を図る。			【目標（2030年のあるべき姿）】	<ul style="list-style-type: none"> ・「桑都物語」のブランディングが向上している。 ・歴史文化を核にした「地域経済と文化継承が両立する持続可能なまち」が構築されている。 			【目標（年度末のあるべき姿）】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産の認定が継続されている。 ・日本遺産「桑都物語」推進協議会部会において以下の内容について議論し方向性が定められている。 人材育成システムの構築 民間における日本遺産の活用方針 ・「桑都の杜」をハブとした周遊に向けた施策が検討できている。 	
【現状】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産ストーリー「桑都物語」の魅力や認知度の更なる向上が必要。 ・令和8年「日本遺産総括評価・継続審査」の対象。 			【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・「桑都物語」の認知度の更なる向上 ・中長期的な視点での人材育成 ・持続可能な収益モデルの構築（民間における日本遺産の更なる活用） 			【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本遺産を活かした地域活性化計画」に基づき、本市の日本遺産ストーリー及び構成文化財を活用した以下の事業に取り組む。 ①人材育成 ②調査研究 ③普及啓発 ④活用整備 ⑤情報発信 ⑥その他事業 		
6	施策番号	31	細施策番号	3	細施策名	観光地域づくりの推進	事業名	観光コンテンツの発掘・洗練化			
	目標設定にあたって重視した点		経営計画に掲げる重点事業の推進								
	【目的】	観光地域づくりを推進し、にぎわいを創出する産業の振興を図るため、多くの人々が訪れたい観光資源としての発掘と磨き上げを行う。			【目標（2030年のあるべき姿）】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産をはじめとする文化観光や産業観光をはじめ、アニメなど様々な本市の資源を観光資源として磨き上げ、コンテンツを充実させることで、さらなる魅力増進を図り、にぎわいの創出につなげている。 ・観光コンベンション協会が地域経済の発展とにぎわい創出に向けた役割を果たしている。 			【目標（年度末のあるべき姿）】	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産をはじめとする文化観光や産業観光をはじめ、アニメなど様々な本市の資源を観光資源として磨き上げを実施している。 ・地域のブランディングを推進するため、地域資源を活用した商品造成を進めている。 ・観光コンベンション協会と市がビジョンを共有し、新たな価値創出に向けた取り組みに着手している。 	
【現状】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産をはじめとする文化観光や産業観光を発展させるため、コンテンツの発掘、充実を行い、収益化につなげる取組をスタートさせた段階。 ・観光コンベンション協会の役割、体制強化が求められている。 			【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の魅力を発見し、磨き上げ観光資源を充実する取組の強化 ・観光体験の高付加価値化 ・観光コンベンション協会の収益化と自主財源確保 ・観光コンベンション協会の体制強化 			【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・（新規）アニメを活用した誘客促進事業の実施 ・（新規）相模原連携地域連携促進事業の実施 ・観光地域づくりの中心的役割を担う観光コンベンション協会への補助金交付 		

施策番号	31	細施策番号	4	細施策名	MICE誘致の強化	事業名	MICEの推進
目標設定にあたって重視した点				経営計画に掲げる重点事業の推進			
【目的】		【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
<p>市内で開催されるMICEの誘致・支援を行うことで、交流によるイノベーションの創出を促進するとともに、市域全体への誘客を図り、経済波及効果を生み出すもの。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議等の誘致に関わるしくみやプロモーションが充実し、誘致活動により誘致の実績が着実に伸びている。 ・MICEに多くの事業者・市民が関わり、まちづくりとして推進されているとともに、その効果が幅広く還元されている。 ・八王子の産業資源・大学など、固有の地域資源やニーズを的確に掘り起こした、地域の発展に寄与するMICEが推進されている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・APEC SMEWGの成果を活用して、効果的にMICE都市・八王子のPRが行われている。 ・MICEプランナーを活用して、誘致活動の戦略に基づき、HKCAのスキルアップが図られている。 ・国際会議の誘致に向けた誘致活動のしくみ（MICEアンバサダー・誘致会議）やプロモーションが具体化・運用されている。 ・市内全体の経済により貢献する「稼ぐMICE」、市民へ貢献するMICEとなっている。 		
【現状】		【課題】			【事業内容】		
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成29年度にHKCAの設立、令和2年度に事業者ネットワークを設立。 ◆大学関係を中心にMICEの誘致活動を実施。 ◆令和4年10月に東京たま未来メッセが開業。 ◆令和5年3月に本市のMICE推進の活動方針である「MICEプロモーションプラン」を策定。 ◆令和7年5月に第59回APEC SMEWGが市内で開催され、MICEとして市がおもてなしを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・APECの実績を国際会議誘致に活用するとともに、今後の誘致活動の戦略を整理し、HKCAの誘致スキルの向上を図る必要がある。 ・MICEの利益の還元が事業者ネットワーク等関係者に限定されており、市内経済や市民生活により貢献していく必要がある。 ・本市の産業集積・大学を活用したり、地域の発展やまちづくりの課題解決につながるテーマでのMICE開催（学会・展示会・企業視察）を研究・推進する必要がある。 			<ul style="list-style-type: none"> ・MICEプランナーを活用して、国際会議誘致の戦略とHKCA職員のスキルアップを図る。 ・MICEアンバサダー任命により、市内大学・医療機関のネットワークを活用した効率的な誘致活動を行う。 ・国際会議等の開催地として選んでもらえるよう、本市の魅力的なMICE資源をおもてなしガイドとしてカタログ化する。 ・MICEを推進するHKCAへの補助を通じて、MICEの誘致及び開催の支援を図ることで、市内産業へ経済効果を波及させる。 ・本市固有の地域資源を活かしたMICEの調査・研究 		